

管理栄養士による診療所サポート事業

(公社) 高知県栄養士会
常務理事 有澤 ゆかり

高知県の糖尿病性腎症による新規透析導入者は、年間107人（H24～27年平均）。人口10万人あたり導入率は14.5人と全国平均12.6人より高値であり、高知県の外来栄養食事指導料の算定は、年齢調整レセプト比で66.5（H29全国平均100）と低く、十分な栄養食事指導が提供できていないという状況が明らかとなっています。

また、管理栄養士のいる診療所が少なく、栄養食事指導を提供できる体制が整っていないこと。管理栄養士が配置されている病院でも外来栄養食事指導が十分には実施できていないこと。このような背景から、高知県栄養士会では平成29年度より医療機関（現在93施設）の協力を得て、高知県から「外来栄養食事指導推進事業」を受託し、糖尿病患者への外来栄養食事指導の推進に取り組んできました。

その平成29・30年度を取組を経て、高知県は新たに、県民に身近な「診療所」で栄養食事指導を受けることができる体制を構築するための施策として「管理栄養士雇用促進費補助金」を創設し、高知県栄養士会は令和元年度から、この補助金を活用して栄養食事指導を開始することを希望する診療所に対し「管理栄養士による診療所サポート事業」をスタートしました。スムーズな事業運用ができるようにコーディネートする担当者の配置と診療所に紹介する管理栄養士の把握など、模索しながらの事業開始となりました。

おかげ様で令和2年2月現在、6つの診療所において運用が開始されました。栄養ケア・ステーションを通じて紹介した5名の管理栄養士が診療所と雇用契約を結び活躍中です。平成30年度に実施した高知県の調査では、約20の診療所が本事業について前向きに検討するとの回答がありました。令和2年度も引き続き管理栄養士を雇用する診療所が増えるように本事業を継続していきます。

「管理栄養士による診療所サポート事業」は、管理栄養士による栄養食事指導を実施していなかった診療所においても、栄養食事指導を必要とする県民に対し、治療の一環として栄養食事指導を提供することができる体制を整備するための事業であり、管理栄養士雇用促進に向けた取組です。この事業を通じて、将来的に高知県の補助金なしでも管理栄養士を雇用したいという診療所が漸増して行くことを期待します。

高知県栄養士会は、「管理栄養士による診療所サポート事業」に協力できる管理栄養士を募集中です。皆さまからのご一報をお待ちしています！

【担当者連絡会】



初年度となった令和元年は、診療所サポート事業に関わっている管理栄養士の皆さんとコーディネーター、アドバイザーが集まり、勉強会（1回）と担当者連絡会（2回）を開催しました。

栄養指導の流れ、指導内容、実施報告書、医師や診療所スタッフとの連携状況など、各診療所での外来栄養食事指導の実施状況について担当者から報告していただき、日頃の悩み・困りごと・課題などをざっくばらんに出し合い、意見交換することで互いの士気を高める機会としています。

【担当者の声】

- ・「管理栄養士から〇〇〇と言われた」と患者さんが言うのは駄目で、「今日は来てよかった」と言ってもらえるように心がけています。
- ・「患者さんに難しい話はしないでほしい」という医師の希望に添い、できるだけわかりやすく、簡潔に話をするためには、しっかりと知識を持っていないといけないので、日々勉強です。
- ・高齢の患者さんにもわかりやすい資料（写真や絵）を使って、記憶に残るように工夫しています。
- ・患者さんの思いを傾聴し、栄養指導報告書を通じて医師に伝えるようにしています。

【管理栄養士雇用促進費補助金活用診療所】

保健医療圏	診療所	所在地	開始月
中央 (中央東)	A	土佐町	R1. 8月
	B	香南市	R1. 8月
中央 (高知市)	C	高知市	R1. 8月
	D	高知市	R1. 11月
高幡	E	津野町	R2. 2月
幡多	F	四万十市	R1. 9月